

耐温度ストレス性評価試験装置



機器の紹介

航空・宇宙関連の部品や装備品の安全性・信頼性を急激な温度変化で評価。



機器の主な仕様

冷熱衝撃試験：

高温さらし温度範囲 60℃～300℃

低温さらし温度範囲 -70℃～0℃

急速温度変化試験：

温度範囲 -70℃～180℃，

温度変化速度（上昇）23℃/min

（下降）18℃/min



活用事例

急速温度変化試験は、冷熱衝撃試験の不良再現性の向上を目指して開発。

半導体の動作温度の上昇や電子部品の実装方法・鉛フリー化などに対応した電子機器の信頼性評価試験方法に使用。



メーカー名：エスペック(株)
型式：TSAHRG-203ES300306H



急速温度変化試験

（試験結果合格の例）

変形等なし ○
正常動作

（試験結果不合格の例）

接合部変形 ×

スイッチ部不良 ×

音質不良 ×

▲例えば、航空機内で使用する電子制御モジュール等に温度ストレスを付加し、電子基板の耐久性、作動安定性、安全性等を評価。

●所在地：〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田1-3-3

●連絡先：053-428-4154

●URL：<http://www.iri.pref.shizuoka.jp/hamamatsu/>